

## 平成 2 2 年第 1 回定例会一般質問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
小 辻 隆 治 郎	<p><b>観光の振興について</b></p> <p>観光についての認識が今ようやく町内にも高まり、ひいては行政当局もその政策を充実させていることは、国の政策とも相まって大変喜ばしい。</p> <p>地域の素材を活用することが観光に結びつくという考え方は、従来の考え方から見て大変新鮮味があるし、ますます重要性が増すと考えられる。</p> <p>そこで、町の観光をより充実するために、次の4点を伺う。</p> <p>(1)町のホームページに改良の余地はないのか。</p> <p>(2)「あわび館」に「島の体験施設」という視点を入れたらどうか。</p> <p>(3)四季折々の花木を楽しむため、点々と植栽するのではなく、地区に分散して、しかも一箇所に多量の花木の植栽を行ってはどうか。</p> <p>(4)土産品の多様化を図るため、「共同加工所」を設けて、広く町民に開放したらどうか。</p>	町 長
伊 藤 忠 之	<p><b>本町における耕作放棄地の現状と解消策について</b></p> <p>食料自給率向上や農村活性化の観点から求められた耕作放棄地の対策として、農林水産省の初の実態調査で、現在、耕作に使用できない農地の荒廃が急速に進んでいることがわかり、営農再開を推進し、抜本的な対策が求められている。</p> <p>県は、国の対策に先駆けて、「耕作放棄地解消5ヵ年計画実践事業」を立ち上げ、本町においても計画を策定し、耕作放棄地の現況を把握し、解消に向けて支援策を実施しなければならないと思うが、町長に次の4点を伺う。</p> <p>耕作放棄地の発生の要因をどのように把握しているのか。</p> <p>耕作放棄地の現状として、草刈りや整地、又は基盤整備を行えば耕作可能な農地と、農地に復元しても利用が不可能な農地の実態を把握しているのか。</p> <p>耕作放棄地が増加することにより、どのような問題が発生するのか。</p> <p>耕作放棄地を解消するために、どのような支援策を行うのか。</p>	町 長

立石隆教	<p><b>小中併設の校舎建替え計画に伴う一貫校の考え方について</b></p> <p>小中学校の建替えに関して、併設の形で検討が進められているが、ソフト面の条件整備という観点からのアプローチも必要だと考える。小中高一貫教育を本当の意味で実のなるものにするためには、連携よりも一貫校の形態が望ましい。</p> <p>この際小中学校を一人の校長と二人の教頭など、また教員室のつくりなど一貫校的な形態にする考えはないのか伺う。</p> <p>また、その場合の手続き上の問題点及び機能上の問題点に対する認識を伺う。</p>	教 育 長
------	--	-------